

令和6年10月栃木市教育委員会定例会会議録

令和6年10月栃木市教育委員会定例会を、令和6年10月25日栃木市役所に招集した。

1 本委員会の出席者は、次のとおり

青木 千津子教育長 後藤 正人職務代理 福島 鉄典委員 西脇 はるみ委員  
大塚 裕子委員 舘野 知美委員 林 慶仁委員

2 本委員会の欠席委員は、無し

3 本委員会に出席を求められた職員は、次のとおり

教 育 次 長	佐 藤 義 美
教 育 総 務 課 長	渡 辺 智 恵 子
学 校 教 育 課 長	堀 江 真 哉
学 校 施 設 課 長	國 府 泰 浩
美 術 ・ 文 学 館 課 長	大 阿 久 剛

4 本委員会の署名委員は、次のとおり

大塚 裕子委員

5 本委員会の書記は、次のとおり

教育総務課 石川 佳代

6 本委員会の会議案件は、次のとおり

日程第1 会議録の承認

日程第2 教育長報告

日程第3 議事

協議第11号 財産の取得について

協議第12号 財産の取得について

日程第4 その他

《会 議》

教 育 長 — 午前9時30分定例会の開会を宣し、出席委員、出席を求められた職員、署名委員、書記及び会議案件を報告する。 —

教 育 長 日程第1 会議録の承認についてでございます。9月定例教育委員会の会議録につきましては、あらかじめ委員の皆様へに配付したとおりでございます。ご質問ご意見等はございますでしょうか。

— なしの声 —

教 育 長 それでは、会議録への署名を大塚委員にお願いいたします。

教 育 長 次に、日程第2 教育長報告でございます。

— 10月栃木市定例校長会の資料に基づき説明 —

1 はじめに

2 9月の収穫から

(1)「共同訪問」を通して学んだこと(吹上中 9/18、三鴨小 9/25)

○学校経営への姿勢について

・両校に共通して見られた教職員集団の実態：極めて高い同僚性、風通しの良さ

→だからこそ、もう一歩高みへ…

キーワードは「超AKB！」/ モットーは「先生たちの心に火を付けること！」

○学力向上への取組から

・形式を取り払い肝となるものを大切に、視点を絞った“見せ合う授業”の実施

→「誰もが思考を止めない」「主体性を育む」授業の工夫に照準を当て観せる/観る

指導略案、授業を参観後の振り返りを Teams で共有、自分の授業に生かす

・毎3校時に教室訪問し、観点を設けて参観(例：UDの視点、学校課題の視点)

→好事例の動画等を職員共有フォルダーに格納すると共に、職員会議等で職員に解説

・全ての子に居場所と居甲斐を保障するために

→本校の独自のケース会議用シートを作成・活用

○働き方改革への取組から

・校務分掌の組織を機能化

→例)情報教育担当を各学年に配置、業務内容の合理化、職員同士の話し合いの活性化

結果、平均時間外勤務時間が減少(R4：65.35h→R5：49.38h)

・行事の精選と再構築

→例)土曜日授業参観の削減、2学年の全日5時間授業、保護者通知や週案等事務作業削減

・PTA、学校の応援団(アシストネット、おやじの会等)との協働を重視→結果、学校へのクレ

3 実りの秋を迎えて、特にお願いしたいこと

(1) 学力向上の秋。子どもたち一人ひとりの“学び”にその子ならではの実りを！

今回の全国/とちぎっ子学力・学習状況調査の結果をもとに全校体制で分析を行い、自校の学力向上に向けた方策を構築し、子どもたち一人ひとりに目指す「学力」が身に付くよう、共通理解・共通実践に努めること。

今回も本市の全体的な傾向として、複数の知識や情報を関連させて考えを深めたり道筋を立てて説明すること、所謂、基礎的・基本的な知識や技能を活用する力(思考・判断・表現力等)に課題が見られた。各校における課題解決に資する具体的で実効性ある改善プランの策定とその実践化に期待したい。

(2) 教職員の不祥事未然防止に細心の注意を(再三のお願い…)！

統計上この時期は、一年の中でも教職員の信用失墜行為が最も発生しやすい時期。管理職として、自校の職員への管理・指導の現状をしっかりと見つめ直し、未然防止に向けて改めてその体制の強化を図ること。その上で、校内における研修や全体指導のみならず、必要に応じた個別の指導を徹底すること。たとえ指導が躊躇われたとしても、児童生徒はもとより、最終的に職員自身とその家族を守ることになることを念頭に置き、個に応じた適切な対応をお願いしたい。

(3) 公開研究発表会等での他校の成果に学び、積極的に自校の取組に活かすこと！

その際は、各校の実態に応じて自校化を図ること。

[学力向上推進研究校]

11/15 西方小、11/21 真名子小、11/29 西方中

[道徳教育推進研究校]

10/31 栃木第三小、11/11 栃木東中

[グローバル教育プログラム実践研究校]

11/8 栃木中央小・栃木第五小、12/2 栃木西中

4 おわりに

芸術の秋。「田中一村展(東京都美術館 9月19日(木)~12月1日(日))」への誘い  
私からの報告は以上でございます。ご質問等ございましたらお願いします。  
学校経営診断カードについてですが、情報処理等で人が足りないというような話  
もあったと思うのですが、今回学校訪問を何校か行ったときに、多くの学校で子  
どもたちがICT機器やタブレットを使っていました。今週の読売新聞の一面で、  
「教科書、紙に回帰」という記事がありました。IT先進国と言われているスウェー  
デンで、2006年から学習用端末が1人1台ということで学習を進めてきた  
のですが、ICT機器によって子どもたちの集中力が続かない、あるいは考え  
が深まらない、長文の読み替えができないなど、色々な弊害が出てきたとい  
うことで、紙で行う教育が非常に大事だということに気づいて、現在は月に1時間程  
度のICT機器の使用にしているという話が出ていました。今、日本は逆にデジ  
タル教科書に移行しようとしていますよね。2006年からICT機器を取り入  
れているスウェーデンで、このような弊害が出てきて紙に回帰しようとしている  
中で、間違った方向に行っているのではないかという思いがあります。栃木市で  
もICT機器を学習に取り入れています、ICT機器は色々な情報が入るので

教 育 長  
福 島 委 員

使い方によってはプラスになりますが、子どもによっては情報が入りすぎてしまって授業中でも違うことをしてしまったり、色々な弊害が出てくると思います。ICT機器やタブレットに頼りすぎて人が足りないので増やすというのも、良いことなのか考えてしまいます。栃木市でも弊害もあるということを検証しながら、ICT機器の使い方をきちんと考えて進めていったほうが良いと思いました。特に授業で、ICT機器を使っていたので、逆行していないかという思いがありました。その辺りは十分注意した方が良いのではと思いました。

教 育 長

実は、そう言ったことについても、下都賀管内のある自治体の教育長が下都賀地区の校長研修会のご挨拶の中でおっしゃっていました。その自治体は、下都賀管内の自治体の中では最も早くICT機器を取り入れて、先進的に学習を進めていた地域です。ところが、導入してから算数などの学力が低下してしまったということでした。子どもたちがICT機器を使うことに時間がかかってしまい、使い方がよくわからないまま時間だけが経って、本来の勉強にかける時間が少なくなってしまうということもあり、ICT機器を使った学習について、考え直すという時期に来ているというようなインパクトの強いご挨拶でした。その教育長がおっしゃるには、先生が教えるときに大画面を使ったり、デジタル教材を使って教えるのは効果的だけれども、子どもたちがおぼつかないスキルでICT機器を使うことが目的になっているようなケースがあるとおっしゃっていて、私も正にそうだと思います。いつどの場面で使うのかということを見極めないと、新聞に書かれているような弊害も出てくるのかと思います。繰り返して戻れたり、一覧性もあるなど、やはり紙の良さはあると思います。タブレットだと欲しい情報のところだけが出て、そこしか見えないので、他との関連性が途切れてしまいます。授業の目標達成のためには、デジタルの良さと紙の良さをきちんと見極めて、ICT機器と紙をいつどの場面で使うかを研究しないと効果が表れないのだと思います。

福 島 委 員

教育委員会が教科書採択の権限を持っているので、そういったところを重点的にした方が良いと思います。ICT機器の場合、環境が悪いとなかなかネットに繋がらないので、それだけで時間を取ってしまうと学校訪問の時も伺いましたので、その辺は見極めていただきたいと思いました。

教 育 長

ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

後 藤 委 員

私もこの読売新聞の記事を見ました。この記事は3部シリーズで、今日が最後でした。2回目は、端末機がフリーズしてしまう、あるいはデジタル教科書のページが動かなくなってしまう、そういうトラブルで先生方が非常に時間をかけてしまうという記事でした。こういう話は以前から出ています。ICT教育を推進するような研究校に学事視察に行ったときに、色々な授業で端末機を使って学習をしているのを見せていただきました。最後に校長先生が、「全国学力調査結果がどんどん下がっています。」と意外なことをおっしゃっていました。その言葉は非常にインパクトが強かったです。今回、読売新聞の一面に載っているということで、非常にショックでした。ICT機器と紙の良さ、それぞれあると思います。私の学校でも生徒は端末機を持っています。しかし必要ない時は全然使っていないので、まず先生方が必要と感じたら使用するのが良いと思います。大きいスクリーンに映して、端末機も使用していると、子どもはどっちを見て良いのかわらなくなってしまう。教科書を大きく映しているだけのときもあります。ICT機器は学習のための1つのツールであって、全部ICT教育で任せようということは無理があるのかと思いました。

教 育 長

ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

館 野 委 員

学校経営診断カードですが、名前を書く欄がありますよね。そうすると本当に思っていることが書けなくなるのかと思ってしまい、名前を記載しないとか、G o

oogleフォームで答えられるようにすると、もう少し違った結果が出るのかと感じました。

教 育 長  
館 野 委 員

確かに答えづらいですね。

答えを躊躇してしまいそうな気がしました。それともう1つ、ケース会議の資料についてですが、学校内のケース会議に使われるものだと思うのですが、学校内でケース会議を行った後に、発達に支援が必要である子どもたちが、学校以外に関わっている相談支援事業所や通所している場所があるところと情報共有できているのかとても気になりました。学校の中で、こういう目標があってどういうふう  
に支援をしているのかという方向性と、その子が通所している事業所でどういう支援をしているのかということの共通理解を図ったり、情報共有できると、その子を取り巻く環境でとても良い支援ができるのではないかと思います。また、家庭を巻き込んで家庭でどのようにしているのか、もっと幅広く会議ができると、その子は生きやすくなるのかと感じました。

教 育 長

もつともだと思います。保護者とは、個別の指導計画、栃木市ではすくすくシートというシートで共有を図っていて、必要に応じて学校使用を超えて共有を図ったりしていると思うのですが、子どもの1日はトータルですので、起きてから寝るまでにの間に携わっている、そういった事業所とも共有化が図れるように今後も相談していきたいと思います。他にいかがでしょうか。

大 塚 委 員

昨日、吹上中の合唱コンクールを見学させていただきました。校長先生が吹上中のキーワードを大きな声で言うと、子どもたちもプラカードを持って、みんなでそのキーワードを言って、保護者がその様子を見ていたのですが、とても一体感が生まれていました。見学した1時間半で、吹上中の温かさをとても感じられました。やはり校長先生が子どもたちと同じ目線になって、同じような環境で過ごすことが、より良いことだと思います。勉強の向上にも繋がるのが、すごく良かったような気がしました。

教 育 長  
大 塚 委 員

先生も子どもたちもみんなで、吹上中のキーワードを言っていたんですね。

みんなで言っていました。先生たちと子どもたちの仲が良くて、それがとても伝わってきて、とても良い雰囲気でした。

教 育 長  
大 塚 委 員

審査もしたのですか。

審査はしていないのですが、本当に子どもたちが生き生きしていて、一生懸命取り組んでいるのがわかりました。合唱の前に先生が生徒を送り出すときの雰囲気もとても良かったです。

教 育 長

その場にいたかのように伝わりました。ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

後 藤 委 員

今大塚委員の話聞いて、皆川中学校で、体育祭も文化祭もみんなの一体感にとっても驚いたことを思い出しました。一方で、合理的配慮の学生が年々増えてきています。栃木市の指導計画のシートとは違いますが、私の学校で色々な先生方が書き込んだシートを事務所に置くことにしました。いつでも先生方が見られるようにして、個別に指導するときに、担任の先生だけではなく、みんなで共通理解しようということで事務所に置いたのですが、2年間ほとんど見に来る先生がいなかったんで、今年度からそのシートを部外秘ということで全教職員にコピーして配りました。先生方に配って初めて見ていただくということでした。個別に具体的な方法でどう指導したらいいかということを確認していくためには、かなり深い内容になると思います。プライバシーや障がいのある子どももいるわけですから、慎重に扱いながら、なおかつ教職員が実際にすぐ見られるような形で指導していくことが良いのかと思いました。学校の指導計画のシートはどこかに置いてあるのですか。

教 育 長

所定のところに置いてあります。

後藤委員  
教育長  
後藤委員  
教育長  
教育長  
委員  
教育長  
学校施設課長  
教育長  
福島委員  
学校施設課長  
福島委員  
教育長  
林委員  
学校施設課長  
教育長  
学校施設課長  
教育長  
学校施設課  
教育長

いつでも先生方が見られるということでしょうか。  
はい。  
わかりました。  
他にいかがでしょうか。  
— 質問なし —  
次に、日程第3 議事に入ります。協議第1 1号及び協議第1 2号の「財産の取得について」は、関連があるため一括して審議といたしたいと思いますがよろしいでしょうか。  
— 異議なしの声 —  
異議なきものと認め、協議第1 1号及び協議第1 2号は、一括審議といたします。それでは、学校施設課長より説明をお願いします。  
〔説明要旨〕  
公共施設の省エネルギー化を進めるため、学校施設LED照明器具を譲渡特約付賃貸借契約により取得することについて、協議を求める旨説明。  
ただ今の説明につきまして、ご質問等ございましたらお願いいたします。  
LEDは電気代も下がるし、明るくなるし、非常に良いことばかりなのですが、壊れないこともないので、電球はかなり持ちますが、切れないこともない。こういった賃貸借契約の場合は、そういったことが起こった場合はどうするのでしょうか。  
この契約は10年間を予定していきまして、その間の器具が故障した場合、保証や交換ができる状態にするという契約です。今回のLEDの話は、全庁的に進めていくものの1つです。その方法の1つとしまして、まず工事で行う場合と、今回のようにリースで行う場合があります。令和5年度には、東陽中の全部の照明器具を工事でLED化しました。小学校は、静和小の夜間照明以外は、昨年度、全部LEDに工事をしたところではありますが、工事では1年で1校程度しかLED化できないので、この先のスケジュールを考慮して、一斉にLED化を行う時期ということで、リース方式を採用しました。その中でリースの電気代削減分、工事で行うと削減分までは補えないものですから、できるだけ費用のかからない方法を使うということで、金額を下げてリースという方向でした。ただし、その間の10年間は保証されていますので、その間に壊れた場合は、新しいものとの交換は無償で行う契約にはなっており、担保は取れる形です。  
わかりました。  
ありがとうございます。他にいかがでしょうか。  
取得施設に寺尾中と皆川中が無いのは、統合のためでしょうか。  
今回は、最終的に39校になりまして、その他に先ほどの東陽中があります。この中に含まれないのが寺尾中と皆川中です。この2校につきましては、令和8年度4月から統合となることを踏まえまして、リース期間が10年間ということもありますので、今回のリースからは外しています。ただし、現状で壊れて電球がつかないものは、その都度、修繕費で照明器具をLEDに交換して学校運営に支障がないような対応をしています。  
確認しますと、東陽中学校はもうLED照明に交換が済んでいるということですよ。  
はい。  
静和小はLEDに交換する照明が、部分的に残っているということですよ。  
静和小は、校舎などほとんど交換が終わっているのですが、夜間照明だけが交換できていないので、今回のこのリースの中に、夜間照明を含めます。そういうことで市内全校の照明がLED化になります。  
42校ありますので3校足りないのは、交換が終わっている東陽中と統合を控え

学校施設課長  
教 育 長  
後 藤 委 員

ている寺尾中と皆川中ということですね。

はい。

他にいかがでしょうか。

10年間保証という年限を設定した理由はあるのでしょうか。例えばLEDは基本的に10年間故障しないという実験の結果、10年間ということなのでしょうか。

学校施設課長

使用期間を優先するというのではなく、今回のLED化について、庁内での方向性として、LEDにして電気料を削減した分で修繕費を賄うという考えを基本とします。例えば、1つの学校をLED化して1年間で100万円電気代が下がると、100万円分が修繕にあてられる金額です。毎年100万円として、学校全体を直すのに1000万円かかるのであれば、10年であれば基本的に工事費用を平準化して今の予算を圧迫しない形です。電気代が下がった分で修繕費を賄えるような計画とすると10年です。電気製品の耐用年数と併せて、費用を試算し、工事費とリース代を相殺して、市の財政を圧迫しないような工夫をして10年という年月を指定しました。

後 藤 委 員

先週、山形県米沢市の先進的な図書館に行ってきました。そこは全部照明がLEDに変えてあり、紹介をしてくださった館長が、「LEDが最近故障し始めて、これ以上故障が出ると費用がものすごくかかるので、もう故障しないでほしい。」と言っていました。LEDの寿命というのは、日にちだけではなくて、ずっと使い続けているかどうかにもよります。故障すると素人には考えられないような相当な金額がかかります。その図書館は1階から5階まで吹き抜けでした。5階の一番上のLEDが故障した場合の交換は大変なのではと思いました。LEDの照明は非常に明るくて、来る方にとっては好評ですが、故障してしまうと費用がかかって困ってしまうということでしたので、10年という年限について質問させていただきました。

教 育 長  
西 脇 委 員  
学校施設課長

ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

2社に分かれている理由は何でしょうか。

どちらもリース関係の業者です。実際に工事をやるのはこのリース会社ではなく、そこから下請けや工事業者を手配して作業を行う状況です。2つに分けた理由としましては、件数が多いということもありまして、それぞれの系統の設備業者が下請けにあると思いますので、できるだけ時間を短縮するために、1つの業者ではなく2つの業者に分けました。

教 育 長

他にいかがでしょうか。

— 質問なし —

教 育 長

それでは、協議第11号及び協議第12号について、原案にご異議ございませんか。

委 員

— 異議なしの声 —

教 育 長

協議第11号及び協議第12号については、異議なきものと認めます。

次に、日程第4その他に入ります。まず、教育委員による学校訪問についてのご報告をお願いします。栃木中央小を西脇委員より、大宮南小を大塚委員より、国府北小を館野委員より、東陽中を福島委員より、お願いします。

西 脇 委 員

— 学校訪問報告書に基づき報告 —

教 育 長

ただいまの件について、ご質問等ございましたらお願いします。

林 委 員

栃木中央小は栃木市出身の著名人が多く出ているということで、著名人のコーナーがあります。先生方に説明いただいたのですが、生徒のレベルが高いので、高いレベルに合わせてしまうと授業がすぐ終わってしまうため、中間のちょっと上くらいの生徒に合わせて授業を行っているという苦労があるそうで、うらやましいお話しでした。

後藤委員

栃木中央小は、見学の方がオープンスペースに驚きます。栃木中央小には多く訪問しているのですが、タイミングが合わなかったのか、オープンスペースを使った授業を一度も見たことがありません。校長先生の学校経営から始まって、色々な説明の中に出てくるのは、オープンスペースを有した学校であるということだと思います。オープンスペースをどのように活用しながら授業を組んでいくか、先生同士の知恵の出どころでもあり、同僚性というものはそういうところで発揮されると思います。先日の学校訪問でも低学年の教室を見たら、ちょうど生活科の授業をしていました。これこそオープンスペースで授業したほうが子どもにとって情報交換もできるし、お互いに教わったり教えたりということもできると思うので、まさに校長先生が学級経営という大事な柱を述べたことの具現化が、その時間なのかと思いました。今度行く機会があれば、ぜひ栃木中央小の一番目玉であるオープンスペースを使うことによって、こんなに子どもたちが成長しているという場面を見てみたいと思いました。

大塚委員  
教育長  
福島委員

— 学校訪問報告書に基づき報告 —

ただいまの件について、何かご意見等ございましたらお願いいたします。大塚委員が報告したように、学校の雰囲気は非常に良かったと思います。大宮南小は何度も訪問していて、校長先生を初め、非常に先生方の仲が良いと感じました。校長先生の気質が伝わっているのだと思います。栃木市で初めて小規模特認校の指定を受けて、これだけ長い間維持してこられて、しかもそれなりの効果を上げているので色々な苦勞があると思います。なかなか、これだけの効果を上げられないと思います。地域の方や通っている子どもたちに対するケアなど、その辺も含めて色々苦勞があると思いますが、そういった苦勞を決して出さないで学校の雰囲気を非常に良くしているというような印象がありました。色々な問題があると思いますが、先ほど大塚委員の報告で、ベテランの先生がやる気満々で、そういったところを他の先生が見て、お手本になりますと言っていたといった話がありましたが、地域の方も含めて先生方と学校を作り上げているという印象を受けました。大宮南小は小規模特認校として成り立っていると思いました。

舘野委員

ひまわりのイメージにぴったりで、とても印象的だったのが、職員室に行って事務の方がコーヒーを出してくださる時に、校長先生と先生方が自然に「ありがとう」と言っていたことです。こういう一言で人の心が温かく繋がるのだと感じました。それが自然に出ているというのは先生方の雰囲気が良くなる源なのだろうと感じました。それと図書の本の貸し出しが800冊増えたということが、とても驚きました。800冊はすごい数で、これは図書室の魅力的な使い方等、先生方と子どもたちの読書の習慣ができてきているのだと思いました。年間に800冊はすごいと思い感動しました。それから、施設の中で困っていることとして、放送室がミニ会議室として使われているので、そこはどうにかしたいということと、放送室や図工室などの特別室にエアコンが設置されていないので、夏はかなり厳しいということ、防犯カメラがあると防犯上安心できるという話が出ていました。それと、手のかかる子が多く目立ってきているので、支援員が足りなくて、どうしても校長先生、教頭先生が空いている時間を全て支援が必要な子に費やしてしまうという課題があるようでした。

教育長

小規模特認校の特徴的な現象で、個別に支援が必要な子どもが通うことが多くなるので、そういった問題も出てきますね。ご意見ありがとうございました。

舘野委員  
教育長  
林委員

— 学校訪問報告書に基づき報告 —

ただいまの件について、何かご意見等ございましたらお願いいたします。初めて訪問したのですが、学校が駅の近くなので、電車の音が大丈夫なのかと思いました。全然問題がありませんでした。また、国府町というところで、どういう地域性があるのかと思ったのですが、PTAで他の地域から入ってくる家族

も多いようですが、自分たちの権利を言う方はそんなにいないようで、まずその土地に慣れて、どういった雰囲気のところかと自分で探ってきてくれて、それから馴染んでくれる気持ちを持っている方が多いということで、土地の歴史などが関係しているのかと思いました。それと学校の授業で、通常は子どもが勝手に出歩くと先生が注意するのですが、そうではなくて、知っている子どものところに行って良いよという雰囲気になっていました。授業中でも、子ども同士話し合ったりしていました。学習に対する雰囲気ができている学校だと思い、感動しました。

教 育 長  
林 委 員  
福 島 委 員

友達のところに聞きに行ける授業だったのですね。

はい。

私も、館野委員と林委員がおっしゃったような印象を受けました。特に物怖じしない子どもが多いと思いました。大人がいても友達同士で聞き合ったりできて、そういう雰囲気を持っている子どもたちが多くいたので、普段からこのような雰囲気なのだろうと思いました。不登校の子どもも少ないということも、地域性もあるのかと思いました。新興住宅地が多いのですが、そういった問題があまりないような感じを受けました。学校の中のスペースにすごく余裕があって、必ず1教室にもう1教室付いている感じで、このような学校は、なかなかないと思いました。雨の日や休憩時間、あるいは物を収納したりして、色々なことに使えるスペースがあって、ゆとりを感じられる学校でした。ただ体育館はひどかったです。今まで見た中で一番ひどく、修理レベルではないと思いました。床は怪我してしまうのではと思うような体育館でしたので、早急に見直さないといけないと思いました。ささくれ立っているような床だったので注意した方がいいと思います。

教 育 長  
福 島 委 員  
教 育 長  
館 野 委 員

今後の課題にさせていただきます。

— 学校訪問報告書に基づき報告 —

ただいまの件について、何かご意見等ございましたらお願いいたします。

周りから聞くイメージで、子どもたちはどのように過ごしているのだろうと少し不安を感じながら訪問させていたのですが、子どもたち一人一人は本当に素直で挨拶もよくしてくれる生徒が多くて、中学生はこんなにたくさん素直に挨拶してくれるのだと思って、すごく嬉しくなりました。教室の中でも、マンモス校だからこそ、子どもたちが切磋琢磨して自分の意見を主張して、その中で揉まれながらも自分の輝きを見つけていくというのが、大きい学校の良さも見えたりして、良いところもたくさん見つけられました。ただ、校庭のスピーカーが届かなくて、例えば雷が鳴ったときに下校しないで待っていなさいとか、今下校しなさいという校内放送が行き届かなくて、どうしても生徒たちの安全に配慮することが難しいとおっしゃっていたので、そこは何とかしていただけたらと思いました。

教 育 長  
大 塚 委 員

ありがとうございます。これからの課題にさせていただきます。

ピアノの生徒が伴奏を弾くので、昨日の午前中は吹上中に、午後は東陽中の合唱コンクールに行かせていただきました。東陽中の合唱コンクールについてですが、審査員ではなかったのですが、校長先生が席を用意してくださいました。2年生は6クラスで、1、3年生は5クラスでした。お腹いっぱい合唱を聴かせていただいて、全学年で泣いたくらいすごく感動しました。校長先生とお話したのですが、小学校のときは、自己存在感が見つけられないで荒れている子どもが多いと思うのですが、中学校になって、教頭先生や校長先生、他の先生方によって、自分というものの存在を認めてもらえたという子どもも多いと思います。校長先生が、「運動会で目標を達成できて、自分で自信をつけた子どもが多いです。」とおっしゃっていました。合唱コンクールで目指しているものや、「みんな入賞するぞ!」と言いながら生徒たちが歌い始めるのですが、「荒れてしまっている子

ちにとっても、1つの目標に向かってやっていくということがとても大切なのです。」と校長先生がおっしゃっていました。本当にみんな一生懸命歌っていました。とても感動したのが、最後にサプライズと言って先生が全員舞台上に上がって「時代」を歌ってくださいました。去年から校長先生が合唱コンクールで歌おうということで、先生たちに話をしたら、遅くまで残って練習しなくてはいけないなど、やはり色々な意見があったそうです。それでも校長先生が、「子どもたちが変わるきっかけになる。」など色々な思いを伝えて、去年から始めたそうです。昨日の合唱コンクールで先生たちがサプライズで出たときも、子どもが「先生ー！」と言ったりして、とても一体感があって泣きながら見ていました。保護者の方の一体感もすごかったです。やはり先生たちも「見せる」ということが大事だと思います。合唱コンクールが終わった後、校長先生とお話する機会があったのですが、「子どもたちとも一体感が生まれて、そして先生方も仲良くなる。このようにみんなで一つのものを作っていくことは、大切ですよ。」と校長先生がおっしゃっていて、すごく良い時間を与えてもらい、晴らしい2時間でした。たくさんクラスがあるのですが、あつという間で、感動させていただいて良い学校だと感じました。荒れてしまう子ども多いと思うのですが、先生方が見てくれていると思うと子どもたちは頑張れることを証明できる学校だと思います。先生方だけではなくて、地域のみんで支えていかなくてはと思いました。先生方がすごく疲れているように感じました。先生方が頑張っているのが伝わってきたので、マンモス校というのは学校だけではなくて、教育委員の私達やみんなで支えていかなくてはと思いました。

福島委員  
大塚委員  
教育長

先生方の合唱コンクールを聴きたかったです。

とても良かったです。本当に感動しました。一つのものを作るという時間は子どもたちにとって、とても大切だと思います。

校長先生の英断ですよ。夜練習しなくてはいけないという意見があったとしても、何を大事にするかということですよ。先生方が子どもたちのために一生懸命練習して歌ってくれたということは、子どもたちの心に響きます。それが結局は究極の働き方改革になると思っています。つまり、それで子どもたちが落ち着いたり、問題行動が減ったり、保護者からのクレームが減ったりすることにつながると思います。何に力を入れるべきで、何を削減するべきか、という判断が校長に任せられているのだらうと思います。校長が直感的にこれはやった方が良かったことは、やはりやった方が良かったと思います。東陽中は本当に大変なですよ。色々なお子さんがいて、人数も多いし本当に大変ですけど、先生方はよく頑張っています。何より先生方が「学校が楽しい。」と言っていました。「大変だけど管理職から温かい言葉をかけてもらえたり、学校がすごく居心地が良い。」と複数の先生方が言っています。コンプライアンスに関する職員対象のアンケートの結果も圧倒的に良かったです。

大塚委員  
教育長

合唱も本当に完成度が高くて、来賓の方も色々なことがある学校だとわかっているのか、感動して泣いていました。子どもも心掴まれたと思うし、荒れている子どもいなくなるのではと思いました。校長先生も他の先生方も本当に頑張っているのが感動しました。

ありがとうございました。次に、令和7年度栃木市奨学生の募集について、教育総務課長より説明をお願いいたします。

教育総務課長  
教育長  
西脇委員  
教育総務課長

— 令和7年度栃木市奨学生の募集についての資料に基づき説明 —

ご質問等ございましたらお願いいたします。

とちぎ吾一奨学生の「吾一」の由来は何でしょうか。

山本有三作品の「路傍の石」の主人公、愛川吾一が由来です。

教 育 長 応募の要件等は、おおよそ例年通りということでしょうか。

教育総務課長 はい。

教 育 長 他にいかがでしょうか。

— 質問なし —

教 育 長 ありがとうございます。次に令和7年度栃木市任期付市費負担教職員採用選考要項について、学校教育課長より説明をお願いいたします。

学校教育課長 — 令和7年度栃木市任期付市費負担教職員採用選考要項についての資料に基づき説明 —

教 育 長 ご質問等ございましたらお願いいたします。

— 質問なし —

教 育 長 ありがとうございます。次に、とちぎ Musee フェスの開催について美術・文学館課長より、説明願います。

美術・文学館課長 — とちぎ Musee フェスの開催についての資料に基づき説明 —

教 育 長 ご質問等ございましたらお願いいたします。

— なし —

教 育 長 芸術の秋ということで、ぜひ足を運んでいただければと思います。ありがとうございます。次に、西方城跡国史跡指定記念イベントについて文化課課長補佐より、説明願います。

文化課課長補佐 — 西方城跡国史跡指定記念イベントについての資料に基づき説明 —

教 育 長 ご質問等ございましたらお願いいたします。

— なし —

教 育 長 ありがとうございます。続いて、令和7年度地教委連合会研修会と学事視察のテーマについて、皆様からご希望やご意見をいただきたいと思えます。まずは、地教委連合会研修会についてご希望やご意見等ございましたらお願いします。

福 島 委 員 星の杜の学校の本を読ませていただいて、やはり先進的な考え方だと思いましたが、全ての公立校ができればいいのですが、それはなかなか難しいところだと思います。これからの教育に必要なことが書かれていて、栃木県としては唯一の学校ですから、実際に現場の理事長にお話してもらえば良いのではと思いました。

教 育 長 新しい学校ということで探究学習などに力を入れている学校だと思います。時代の要請と言いますか、子どもたちに身につけさせるべき力を身につけるための1つの迫り方なのかと思いますので、1つの案としてお聞きします。

福 島 委 員 その学校に限らず、そこから取り組みをされている学校もあるかもしれないし、そういったことは教育委員として勉強すべきことかと思えます。

教 育 長 県内でもそういった探究学習をみんなで学び合うということで、栃木市内では栃木高校や、あとは宇都宮や那須の方でもいくつかあります。県立と私立が一緒になって研究発表大会なども実施しているという話を聞いています。今、STEAM教育と言われていますが、教科横断的に学ぶことが、これからの変化の激しい予測困難な社会を生き抜く力を育む1つの太い柱だということです。実は学習指導要領においても幼稚園要領から小学校、中学校、高校のそれで、STEAM教育という言葉こそ使われていませんが、義務教育では「総合的な学習の時間」、

高校では「総合的な探究の時間」ということで大きな柱の1つになっています。福島委員のおっしゃったような形で提案するというのも1つの案かと思えます。他にいかがでしょうか。

— なし —

教 育 長 ありがとうございます。次に、学事視察の件ですが、方面等々何かご希望はありますでしょうか。令和4年度が新潟県長岡市でした。去年は、先ほど後藤委員からICT教育の中学校の授業の話が出ました下仁田中学校に行っていました。今年が双葉町の震災の復興状況ということでした。余談ですが、今年地の教委連合会の県全体の研修会が11月20日にありますが、講師として双葉町の教育長が講話をしてくださるということになりました。令和7年度の学事視察についてご希望やご意見等ございましたらお願いします。

舘 野 委 員 長野県にある伊那市立伊那小学校なのですが、色々な地域や発達の程度が関係ない小学校で、夢みる小学校という映画の元になった小学校です。映画の教職員役で、西田敏行さんが出演していることにも興味があります。それと、グラフィック・レコーディング学習を取り入れている新宿区の落合第六小学校や、新潟県の坂井輪小学校で教職員向けのグラフィック・レコーディング研修があって興味があります。

福 島 委 員 坂井輪は、地震で液状化が酷いため難しいと思います。

舘 野 委 員 そうなのですね。中学校だと、成田市立西中学校も同じようにグラフィック・レコーディングを活用した、未来をつくる力を育む参加型体験授業を行っています。研究授業なので、もしかしたら普通の授業では行ってないかもしれないですが。その辺りが、気になったところです。

教 育 長 実際に、ご覧になったのですか。

舘 野 委 員 ホームページで見たので少ししかわからないのですが。去年の9月頃に、愛媛県の学校でもグラフィック・レコーディングを取り上げていたりして、コロナだったのでなかなか難しい学習方法だとは思っていたのですが、最近もグラフィック・レコーディングを行っているのをホームページで見たので、実際に見られたらいいと思いました。

教 育 長 場所はいずれにしても、テーマとしてはグラフィック・レコーディングに取り組まれている学校の視察がしたいということと、もう1つは長野県の伊那市立伊那小学校を視察してみたいということですね。

舘 野 委 員 はい。

教 育 長 多様な子どもがたくさんいて、そういう子どもを教育支援する学校ということですね。

舘 野 委 員 はい。校則もなければ何もなくして自由といった学校にとっても興味があります。

教 育 長 大きく2つ提案していただきました。グラフィック・レコーディングに取り組まれている学校、あるいは長野県の夢みる小学校の案ですね。他にいかがでしょうか。

大 塚 委 員 夢みる小学校の中には、夢みる校長、夢みる給食などもあって、実は明日その映画を観に行きます。長野県の伊那小学校で撮影されて、学校があまり好きではない子どもたちが学校をどのように作っていくか、どのように経験していくかとい

う内容だそうです。そういう子どもたちは、どのような子どもたちなのだろうかと思っていたのですが、伊那小学校を知っている方から聞くと、一部の生徒は早稲田に行ったり、慶應に行ったりしているそうです。自由に過ごしているのですが、自分で考える想像力がついていて、勉強に支障がないという感じがしました。とても勉強ができるそうです。私もとても興味があって、発達障がいがある子ども全くない子ども、そういった小学校で過ごしている様子を視察してみたいと思いました。

教 育 長  
後 藤 委 員  
大 塚 委 員  
後 藤 委 員

主体的に学習する力が身についているということですね。

夢みる小学校の映画は全国で上映しているのですか。

はい。自主上映もしています。

先日、私の学校に責任者の女性が来て、色々な話をされていました。著名な方がパネルディスカッションしているのですよね。とても魅力的な取り組みをしていると思いました。実際に本市でやることはできなかったのですが、「映画を観た方はとても感動しますよ。」と言っていました。

大 塚 委 員

明日、上映する埼玉の北美町に電話で聞いたときに、そこでも色々な問題が起きていたようです。そのために頼んで、町内みんなで観たそうです。色々学校内や、その子どもたちの中であって、それを上映することにしました。と言っていました。映画を観た方からも話を聞いたのですが、「すごく感動するし、今の教育にはこういうものが必要だと絶対思うよ。」と話をしていました。栃木市でも頼むことができます。直接ネットで申し込むことができます。明日の埼玉での上映は1人当たり500円くらいで見ることができます。1つの例としては夢みる小学校の映画を観ることもいいのかと思います。

後 藤 委 員

先ほど栃木中央小のことでオープンスペースということをやったのですが、オープンスペースとコンピュータということで、平成9年に、神奈川県横浜市立本町小学校に学事視察しています。そのパート2として、現在オープンスペースがどのように活用されていて、コンピュータに様々な課題、問題が出ていますが、それをどう克服していくかという意味で、視察に行くのも1つの案だと思いました。

教 育 長

平成9年間の横浜市立本町小学校、オープンスペースとコンピュータのその後ということですね。いくつか意見が出ましたが他にいかがでしょうか。

— なし —

教 育 長

ありがとうございました。以上で、本日の案件はすべて終了いたしました。委員の皆様から何かございますか。

— なし —

教 育 長

ありがとうございました。それでは、これをもちまして本日の定例教育委員会を閉会といたします。

—— 午前11時28分委員会の閉会を宣言した。 ——

令和6年10月25日

教育長

署名委員